

# モビリティをきっかけとした対話による 中山間地の地域マネジメントの試み

山梨大学大学院  
神谷貴浩・佐々木邦明

# 山梨県甲斐市

## 甲斐市

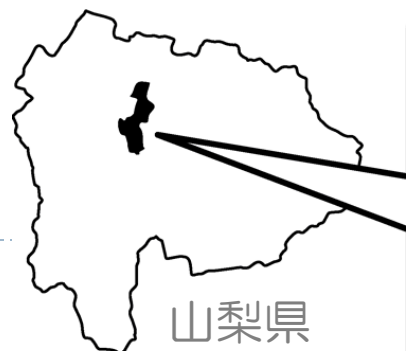
- ◆ 3町の合併(平成16年9月)により誕生
- ◆ 人口74,694人(平成23年6月末日)

### 路線バス運行状況

- ◆ 民間バス事業者38路線
- ◆ 市民バス: 中心駅⇔大学病院間

地域公共交通総合連携計画

1. 市街地を循環する路線
2. 市街地を南北に縦断する路線
3. 中山間部の高齢者を対象にした路線

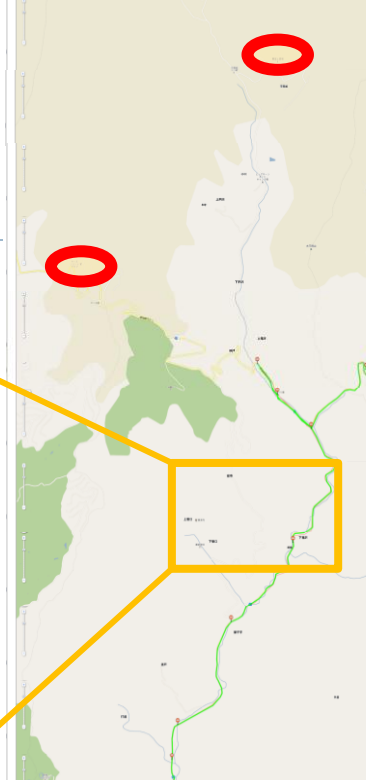
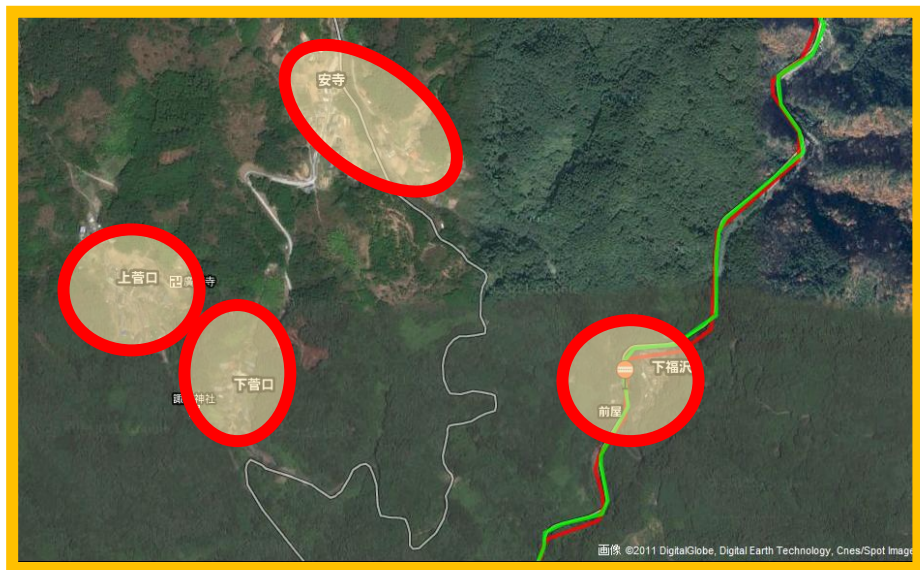


山梨県





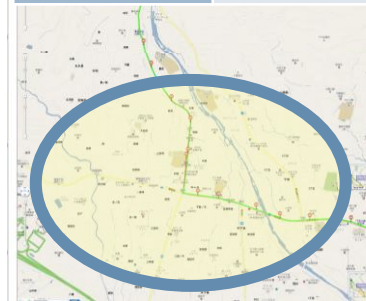
# 甲斐市北部の中山間地域



	市民バス運行方式
方式	路線型バス
頻度	2日/週, 2往復/日
運賃	100円/回



平成22年7月から各集落を通過する市民バスの運行開始



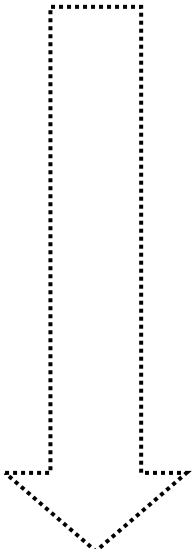
# 目的と取組概要

---

## 目的

- ◆ 活気あふれるまちづくりへ
- ◆ 社会参加を支援する移動手段の維持・確保

## 取組概要



平成22年6月：利用意向調査  
ー全世帯アンケート調査ー

平成22年7月：市民バス運行開始

平成23年1月：利用改善可能性調査  
ーヒアリング調査ー

平成23年4月から運行方式が変更

# 市民バス運行開始前のアンケート調査

## 調査概要

対象	市民バス運行エリアの全60歳以上
調査方法	配布:自治会経由, 回収:各世帯訪問 回収時に簡易なヒアリング調査
回収部数	284サンプル
調査内容	個人属性・医療や買物の交通行動・市民バス利用意向・外出日数など

～アンケート調査結果概要～

- ▶ **利用意向は非常に高い**  
(10.9%が定期的に利用, 36.6%が一度は利用すると回答)
- ▶ **高齢者の外出日数は非常に少なく, 個人差が大きい**

## 中山間地(高齢者と)の個別コミュニケーションの有効性

---

- ◆個人や世帯による違いが大きく、一人ひとりの実情に配慮する必要性
- ◆MM分野においても個別コミュニケーションの有効性
- ◆調査に対して協力的

**インタラクティブな個別コミュニケーションが有効, 必要**

# 運行開始からの利用状況 1便当たりの利用者数



**低調な利用状況**

◆ヒアリング調査より低調な要因を探る

# 1月のヒアリング調査

## 調査概要

対象	運行エリアの全体の約20%(集落ベースで抽出)
回収部数	67サンプル
調査内容	個人属性・世帯構成・利用状況・利用意向・改善要望・利用されない理由

～ヒアリング調査結果概要～

- ▶ 「個人・地域が抱える課題」なども把握
- ▶ 課題解決のための市民バスに関心を持っていただく機会
- ▶ 利用が低調な要因の抽出

**調査結果を基に運行方式の改善, H23.4月より変更**



# 運行方式の改善～頻度・コース～

旧

頻度	2日/週, 2本/日
コース	1便で全集落を通過

要望 ヒアリングより

- ◆増便・減便
- ◆片道の運行時間短縮
- ◆往路は2系統
- ◆バス停設置位置
- ◆買物施設まで延伸
- ◆JR駅まで延伸

往路は2系統

頻度は一日1本～2本

集落の中へ運行する箇所

買物施設まで延伸

往路は需要に応じた形



# 運行方式の改善～曜日・時刻・料金～

## 曜日

～要望～

- ◆温泉送迎バスと連続しない曜日の希望

**温泉送迎バスの運行曜日に配慮した曜日設定**

## 時刻

～要望～

- ◆買物施設の開店時間との整合を持たせる

- 10時頃到着便の設定
- 午前，午後で往復可能

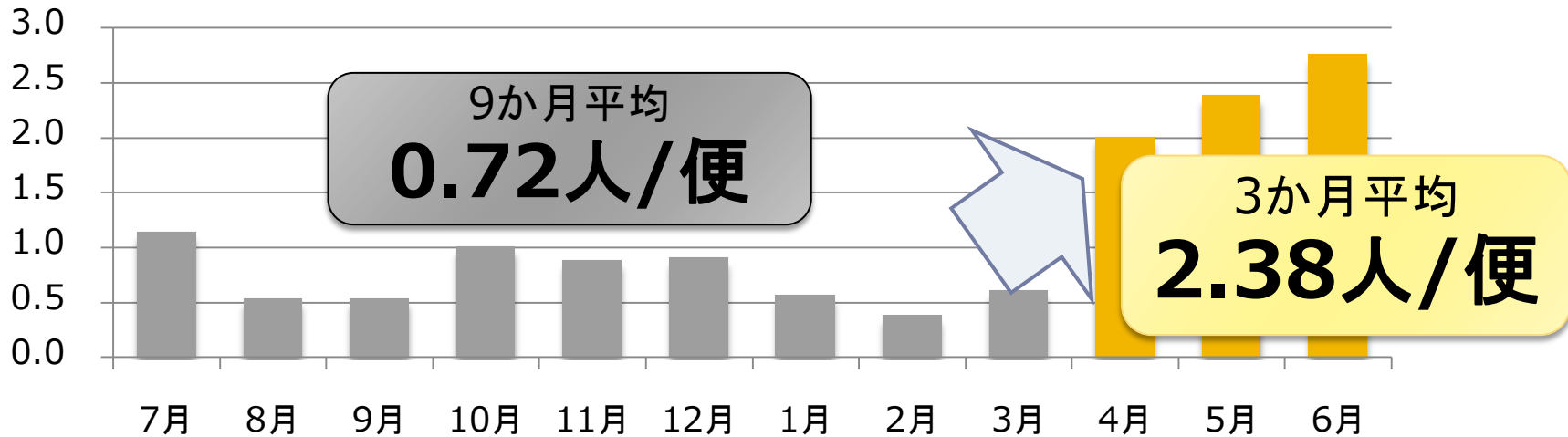
## 料金

～要望～

- ◆良心的，ありがたい
- ◆安すぎる
- ◆往復で500円～1000円

**100円/回は変わらず**

# 利用状況 1便当たりの利用者数



## 利用者増加要因

- ◆ 市民バスを必要とされる方の生活行動の詳細把握
- ◆ 具体的な運行方式の提案

より住民ニーズに即した運行方式

- ◆ ヒアリング対象地域の方が新たに定期的な利用者へ

# 市民バスの利用者を与える影響

---

## ◆地元紙への掲載

## ◆「快適な市民バス ふれあいの場に」というタイトル

## ◆市民バスでよかったこと

- 「山梨交通バス路線への乗り継ぎ」
- 「食料や生活必需品などの買い出し」
- 「幼なじみとの再会」
- 「満開のサクラの花見」
- 「運転手さんの心遣い」

## ◆市民バス車内での高齢者のふれあい、つながり



生活交通課題の改善以外にも好影響が見受けられた

# コミュニケーション事例と地域の動き

---

◆市民バスへの協力意思

◆市民バスの活用方法の提案  
◆民生委員としての活動

◆老人クラブの精力的な活動

◆週に3回グランドゴルフの開催

◆地域の活性化を目的  
◆里山再生，環境保全

**課題解決に向けた前向きな動き**



# コミュニケーション事例と地域の動き

---

## 後ろ向きな動き

◆地域活動への参加が消極的に

◆地域・交通課題に関心なし

◆介護生活で精いっぱい

- ◆老人クラブの廃止
- ◆自治会の縮小
- ◆祭の簡素化

# 個別コミュニケーションと地域課題

---

- ◆個人単位の特性把握, アプローチが可能
- ◆調査員の知識向上
- ◆調査に対する信頼性向上

～地域が抱える課題～

✓ 少ない外出機会

✓ 生活交通

耕作放棄地

消極的な地域参加

地域組織の縮小

獣害

✓ 地域コミュニティ喪失



ありがとうございました

【謝辞】

本取組は甲斐市企画財政課および敷島北部の住民の皆様方の多大なご協力をいただいております。ここに感謝の意を表します。